

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	高規格救急自動車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	高規格救急自動車 1 台		
総事業費 (千円)	37,232	交付金充当額 (千円)	37,232
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、13分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭し、安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>これまで、消防署に配備されていた高規格救急自動車は、排気量3,270cc、総重量3,325kg、乗車定員7名の4WDオートマチック車であった。この高規格救急自動車は、平成12年に当該石油交付金事業で整備したもので、既に10年が経過しており、現在では防振ベットの揺幅が激しく、防振架台と油圧緩衝装置の交換が必要とされていた。さらに、ここ数年ではエンジン等のトラブルも発生し、修理などに数日を要し救急出場に支障を来していることから、更新を図った。</p> <p>今回、更新された高規格救急自動車は、高度救命処置用資機材及びその他の救急資機材を積載し、機能、安全性、救急活動に必要な室内空間の広さ、傷病者に対する影響等を考慮した最新型の車両である。</p> <p>また、乗車定員を7名以上とし、現在の車両と同じく操作が簡単な4WDオートマチック車を導入した。</p> <p>更新後これまでに、救急出場が180回、通常訓練90回及び演習等救急訓練13回、業務連絡・応急手当指導等への出向16回の使用がある。</p> <p>高規格救急車を更新したことにより、経年劣化による不具合等が解消され、現場での救急活動が安全、確実かつ迅速に行えるとともに、本市の消防における防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	高規格救急自動車購入	指名競争入札	鹿児島日産自動車(株)
			契約金額 (千円)
			37,232
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
救急車両の計画的な更新整備等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考える。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	チタン製三連梯子更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 - 1		
交付金事業の概要	チタン製三連梯子 1脚 付属品 (クロスバー1本・カラビナ5個)		
総事業費 (千円)	1, 4 1 8	交付金充当額 (千円)	1, 1 0 0
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、13分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭し、安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>これまで、消防署に配備されていた消防用三連梯子は、鋼管製で全長 8,73m、縮長 3,55m、総重量 36 kgであった。</p> <p>この消防用三連梯子は、平成8年度に救助工作車の寄贈に伴い購入し、同車両に積載したもので、既に15年目を迎えようとしており、老朽化が激しく伸梯時には歪みが生じ、主かん部等にも変形が見られることなどから、強度が激減していることが考えられる。</p> <p>また、当該三連梯子は、鋼管製のため重量が重く、職員の高齢化に対して軽量化が望まれることより、軽くて強いチタン製の三連梯子に更新を図った。</p> <p>今回、更新した消防用三連梯子は、チタン製で全長 8,73m 以上、縮長 3,535m 以下、総重量 32.5 kg以下のものである。</p> <p>更新後これまでに、救助現場で1回、通常訓練 240回及び演習等救助訓練で30回使用している。</p> <p>軽くて強いチタン製の三連梯子に更新したことで、これまでよりも災害や救助現場での活動が安全、確実かつ迅速に行えたとともに、隊員の省力化も図られ災害等による被害の軽減が確実に期待でき、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	チタン製三連梯子購入	指名競争入札	(株)熊谷消防設備
			契約金額 (千円) 1, 4 1 8
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	塵芥収集車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市環境センター いちき串木野市冠岳10660番地		
交付金事業の概要	塵芥収集車 1台 4t車 ロータリープレス式		
総事業費(千円)	9,293	交付金充当額(千円)	9,293
交付金事業の成果及び評価	<p>本市の可燃ごみについては、平成17年10月の市町合併から平成18年度までは串木野地域、市来地域それぞれ収集していたが、平成19年度からは市全域の可燃ごみを収集するようになった。住民が可燃ごみを出す日は週2回でその日に出されたごみをその日のうちに収集し、地域住民の快適な環境を維持するために努力しているところである。</p> <p>現在、可燃ごみの塵芥収集車を4台保有している。そのうちの3台で収集を行い、一番年式が古い収集車1台を、他の収集車の車検や故障時等の予備車として配置している。</p> <p>可燃ごみの収集は、平成19年度から市内全域を収集するようになったことで、収集車の1日の走行距離が多くなってきており故障修理も増えてきている。</p> <p>今回更新した車両は一番古い年式で、平成7年6月に購入以来、既に15年が経過しており、現在はエンジン等の不具合がみられ故障修理も増えてきており、予備車としての機能を果たせないため、可燃ごみ収集に支障を来たしていた。</p> <p>今回更新した塵芥収集車は4t車で、最大積載量が7.5m³の円形のドラムを回転させながら、ゴミを巻き込んで積み込むロータリープレス方式で、乗車定員3名のマニュアル車である。</p> <p>今回更新した車両は、更新後これまで収集業務に125日使用しており、走行距離11,188kmとなっている。</p> <p>塵芥収集車を更新したことにより、予備車の故障などの解消が見込まれるとともに、現場での収集活動がスムーズに行えるため、住民の快適な生活環境の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	塵芥収集車購入	指名競争入札	UDトラックス ジャパン(株)
			契約金額(千円) 9,293
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
4	市道浦和町7号線外道路改良工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市浦和町地内		
交付金事業の概要	工事延長 L=350m 舗装工 A=1,470㎡ 排水工 L=457m		
総事業費(千円)	16,569	交付金充当額(千円)	16,200
交付金事業の成果及び評価	<p>市道浦和町7号線は、地域住民の生活に重要な役割を果たしており、また周辺には、病院や公園等が近接しており、地域外の住民も利用する道路であり、生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本路線は昭和40年代に整備しているため、路面の老朽化が著しく進行し、ひび割れや凸凹がひどく、また側溝も割れている状態である。</p> <p>そのため、車両等の円滑な走行が妨げられ、通行の際の騒音や振動が生じている。また、側溝が割れたことによる路肩の劣化や排水のつまりなどが生じ、歩行者の安全な通行が妨げられるなど、地域住民の生活に支障をきたしている。</p> <p>本路線の改良工事は、工事延長350.0mの区間において、側溝を457.0m取り替えて、アスファルト舗装を1,470.0㎡行った。</p> <p>本工事を実施したことで、車両が安全に走行できるようになるとともに、通行の際の騒音や振動なども抑えられ、また、歩行者などの安全な通行ができるようになり、地域住民やの安心・安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道浦和町7号線外道路改良工事	条件付一般競争入札	(有)古川建設
			契約金額(千円) 16,569
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
5	防災行政無線戸別受信機更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市役所 いちき串木野市昭和通133番地1		
交付金事業の概要	防災行政無線戸別受信機 30台		
総事業費（千円）	1,006	交付金充当額（千円）	806
交付金事業の成果及び評価	<p>本市の防災行政無線戸別受信機整備については、市町村合併前の旧串木野市で平成6年度から8年度に、旧市来町では平成2年度に、全世帯に整備(貸与)を行い、平成17年10月の両市町による市町村合併後も、災害が発生した場合に備え、円滑な情報伝達が行われるよう防災行政無線戸別受信機を整備し、防災対策の整備充実を図っているところである。</p> <p>また合併を機に、それぞれの地域で行っていた防災行政無線設備(操作卓、遠隔制御装置、中継局等)を統合し、あわせて無線機についても、アナログに比べ鮮明で聴きやすいデジタル化を図り、平成19年度からは串木野庁舎、市来庁舎及び市消防本部から市内全域に向けての放送が可能となっている。</p> <p>現在の放送形態としては、拡声子局はデジタル波を、戸別受信機はアナログ波を利用して串木野庁舎の操作卓から各中継局を経由して放送を行っている。</p> <p>戸別受信機は各世帯に貸与しており、新規取付けや不具合による取替え等、合わせて年間約200件の貸与を行っている。</p> <p>しかしながら、戸別受信機は当初購入後、15年から20年以上が経過し、機器の経年劣化による不具合や故障、山間地やコンクリート建物における受信不良、また、部品が生産中止となり修理不能となった受信機も増えている。</p> <p>そのうえ、昨年3月11日に発生した東日本大震災以降、市民の防災に対する関心が高まり、戸別受信機の故障や受信不良、新規貸与の問い合わせが多くなっており、これらを解消するためにも、年次的な戸別受信機の更新が急務である。</p> <p>今回整備された戸別受信機は、これまで同様、アナログ波対応だが、親局が日本無線(株)の機器であり、他社の戸別受信機では本市の防災行政無線設備に十分な対応ができないため、同社の機器に限定するものである。今回の計画で、現貸与の戸別受信機の故障・不具合、また、新規貸与分として30台購入した。</p> <p>更新後に緊急放送を5回と市からの情報を朝・夕1日2回(日・祝日の朝は除く)行っている。</p> <p>今回戸別受信機を整備したことにより、受信機の故障・不具合への対応、また、新規転入者等への貸与が可能となり、災害時の情報伝達が確実かつ円滑に行なわれるようになったことから、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	防災行政無線戸別受信機更新事業	指名競争入札	長野無線(有)
			契約金額(千円) 1,006
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			